



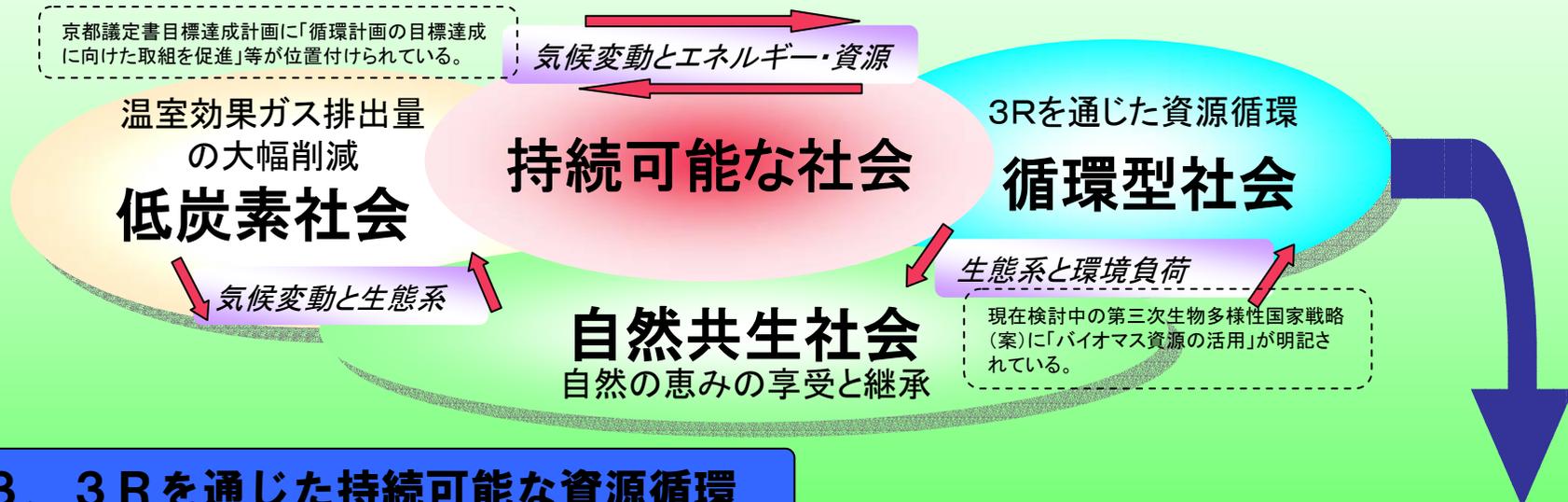
資料7

循環型社会形成に向けた主な取組

平成19年10月
環境省

「環境立国戦略」の策定と持続可能な社会の構築

本年6月、政府として今後1、2年で重点的に着手すべき戦略を取りまとめた「環境立国戦略」が策定。この中で「3Rを通じた資源循環」が重点戦略の1つに挙げられており、低炭素社会、自然共生社会、循環型社会についての統合的な取組を展開することにより、持続可能な社会を構築する必要性が指摘されている。



戦略3. 3Rを通じた持続可能な資源循環

- 日本をアジアにおける3Rの推進拠点とし制度・技術・経験を発信、「東アジア循環型社会ビジョン」を策定し東アジア全体の資源循環を実現
- 製品ライフサイクル全体での資源生産性向上・環境負荷低減、地域レベルから物質の循環を促進、ごみ有料化など「もったいない」の気持ちを活かす社会経済システムの構築
- 廃棄物発電の導入等の促進、廃棄物系バイオマスの有効活用
- 各国における資源生産性の目標設定・レビューによるG8での3R推進

戦略3：3Rを通じた持続可能な資源循環①

3Rとは、ごみを減らし(Reduce)、使えるものは繰り返し使い(Reuse)、
ごみになったら資源として再利用(Recycle)する取組

アジアでの循環型社会構築に向けた取組

国際的な循環型社会を構築するために、

- ① まず各国の国内で循環型社会を構築し、
- ② 廃棄物の不法な輸出入を防止する取組を充実・強化し
- ③ その上で循環資源の輸出入の円滑化を図ることが必要。

- ◆ 日本の3R・廃棄物管理の先進的な制度、優れた技術・システム、各主体の取組と連携の経験を各国に発信
- ◆ 3Rの情報拠点の構築
- ◆ 「東アジア循環型社会ビジョン」の策定



3Rの技術とシステムの高度化

日本の3Rの技術・システムに更に磨きをかけるために、

- ◆ 製品のライフサイクル全体での天然資源等投入量・環境負荷の最小化
- ◆ バイオマス重視の「地域循環圏」の形成、地域での循環が困難な物質について、広域・国際的な資源循環3Rの情報拠点の構築
- ◆ ごみ処理の有料化など、「もったいない」の気持ちを活かす社会経済システム

3Rを通じた地球温暖化対策への貢献

3Rを通じて温室効果ガスを削減すべく、

- ◆ 廃棄物発電の促進など、廃棄物からのエネルギー回収の徹底
- ◆ 廃木材や生ごみからのエタノール生産など、廃棄物系バイオマスの有効活用

廃棄物系バイオマスからのメタン回収

